

# 両国まちあるき瓦版 祇の政

へぐり、めぐり、ぎくり、きらり、びっくり、やはり、りょうごくへ

## ★今年も両国をよろしくお願ひします！



あけましておめでとうございます。先月開催された江戸東京博物館のリニューアルオープン100日前を祝すさまざまなイベントには、多くの方にご来場いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今年は、いよいよ3月31日にオープンを控え、両国の街がますます盛り上がる一年になろうかと思います。引き続き、よろしくお願ひします！

## ★両国協力会をご存知ですか！

両国協力会は、両国地域を拠点とする企業や団体が集まり地域の活性化と未来の両国と共に考える連絡会です。両国の魅力を広く発信し、地域経済の活性化に積極的に寄与することを目的としています。主な活動内容は、毎年12万部を発行する“両国にぎわいMAP”の作成や、観光資源の観察、防災についての学習、両国における一大イベントである“両国にぎわい祭り”への協力などです。

**新春企画** “えどはくリニューアルオープンとこれから両国に期待すること”について、両国協力会から代表の3名に語っていただきました！



株式会社パイオニア  
蛭間さん

みんなが待ちに待った江戸東京博物館のリニューアルオープンが、やっとそこまでやってまいりました。リニューアルオープンは、両国の歴史や文化の魅力を改めて発信する大きな契機になるはずと期待しています。博物館を訪れる人々が街へと足を延ばし、相撲や下町文化、そして飲食店など地域資源に触れることで、回遊性の高いにぎわいが生まれるはずです。地域住民と来訪者が交流する場として、両国全体の活性化につながることを願っています。



両国湯屋江戸遊  
平井さん

江戸博さんの3月リニューアルオープンの改装中身が少しずつ見えてきました。3階ピロティの天井にはプロジェクションマッピングが施設されて、いろいろな映像が見えるようです！早く見たいですね！他にも館内や外回りにも新しい増築物があるようで、訪れる人は多くなると確信します。博物館めぐりの後は、江戸遊でひとつ風呂なんてコースができると面白いですね！



回向院  
本多さん

以前にも増して国内外からも江戸の魅力が注目され、両国にも多くの観光客がいらっしゃいます。両国に住む人、通う人にとっても両国発信江戸東京文化に触ることは、自身のアイデンティティの礎になるものでしょう。展示を楽しみ、飲食店で休憩、気になったことを図書室で深掘りもできる。文化を学ぶ最適の施設が再開することを楽しみにしています。温故知新。江戸博再開を通じて、両国に縁のある方々の未来が益々拓かれることを祈念しています。

2004年（平成16年）春に、地元企業10社の協力により発足した両国協力会も、現在では以下の17の企業・団体と2団体のオブザーバーを含む19の会員で構成されています。

日本相撲協会、江戸東京博物館、東京水辺ライン、JR両国駅、株式会社パイオニア、第一ホテル両国、パールホテル両国、両国湯屋江戸遊、国技館サービス株式会社、回向院、東京東信用金庫、両国ビューホテル、すみだ北斎美術館、株式会社ジェイアール東日本開発、THE GATE HOTEL 両国 by HULIC、刀剣博物館、株式会社佐藤総合計画  
オブザーバー：墨田区、墨田区観光協会

# ★両国観光の拠点です！

観光地である両国の街に所在するさまざまなホテルから、今回は、両国協力会に参加企業のホテルをご紹介します。宿泊以外にも、一年を通じてバラエティに富んだ催しが開催されています！

## ●第一ホテル両国

東京ディズニーリゾート®グッドネイバーホテル、日本相撲協会オフィシャルホテルでもある都営大江戸線A1出口直結、2000年5月開業の高層ホテル。最上階25階には、展望の良さを生かしたスカイバケット“アジュール”や、両国ならではのちゃんこをはじめとした人気の和食ランチビュッフェが楽しめる日本料理“さくら”がある。客室数334室（横網I-6-1）

## ●パールホテル両国

JR両国駅から、わずか徒歩1分という好立地のリバーサイドホテル。併設レストラン“ようらく”的豊富な品数が自慢の朝食バイキングが人気。エコ連泊プランを活用した長期滞在も可能。公式ホームページで随時更新されるスタッフ日記も一読の価値あり！客室数284室（横網I-2-24）

## ●両国ビューホテル

JR両国駅から、なんと徒歩30秒、全室バルコニー付き。館内は、江戸紫や藍色をベースにした落ち着きのある空間に、葛飾北斎の浮世絵デザインを施した客室が人気。朝食会場“大銀杏”では、相撲力士の浮世絵に飾られた空間で、ちゃんこ料理を中心とした和洋バイキングが味わえる。グループ向きの客室も充実。客室数150室（両国2-19-1）

両国には他にも魅力的な宿泊施設がたくさん！

# ★ついに出ました！えどばくりニューアル情報！

先月開催された“江戸東京博物館リニューアルオープン100日前記念イベント”では、そのリニューアル内容の一部が発表されました。そのなかから、代表的なものをお見せします！

## ○魅力向上を図る建物内外の空間デザイン

建物内外の空間デザインは、日本人建築家・重松象平氏がパートナーを務める世界的建築事務所OMA (Office for Metropolitan Architecture) が手掛け、再構成。さらなる魅力と賑わいを創出するような場づくりが行われている。また、建物3階の屋外にある約4,000m<sup>2</sup>に及ぶ天井面と柱面を巨大なキャンバスに見立て、博物館の収蔵品をダイナミックに投影するほか、常設展示室内6階に空の映像を投影することで、大型模型との相乗効果を高める工夫がなされている。

## ○江戸と現代が融合したエントランス空間

小ホール横の壁面は、江戸時代に“三大花形職業”とも言われた技術である左官仕上げが東京マイスター・久住有生氏により施されている。他にも随所に左官の技術が活かされるなど、江戸・東京の歴史と文化を伝える施設にふさわしい、伝統とモダンが融合した空間となっており、素材の質感と手仕事の美しさを感じられる。

## ○みんなで考えた幕の内弁当

レストランリニューアルにあたり募集した“えどばくで食べたい幕の内弁当”で集まった多くの作品の中から審査で選ばれた“えどばく タイムトラベル幕の内弁当：江戸一令和”がブラッシュアップを経て、実際にレストランで提供される。

And more...



“両国にぎわいMAP 2026”

が発行されました！

両国観光案内所などでも配布しています。



☆墨田区観光協会では、両国をはじめとする

“本物が生きる街みだ”について、地元ガイドによる“まち歩きガイドツアー”を実施しています。



☆江戸博では、リニューアル工事中も、さまざまな催しなどを実施しています。国際ファッションセンター1階ショーウィンドーでの展示も開始しました！

## ○大型模型の新設・仕様のアップデート

常設展示室で存在感を放っていた大型模型“朝野新聞社”を、史実に基づき“服部時計店”へと改修。その正面玄関が文明開化の世界が広がる東京ゾーンの入口として、時代の移り変わりを感じさせながら訪れる人をいざなう。また、従来は外観のみの観賞であった芝居小屋“中村座”が、内部に足を踏み入れ、江戸の芝居文化を肌で感じられる体験型展示へ生まれ変わる。

## ○常設展示の内容をさらに拡充

関東大震災からの復興を支えた東京初の公営乗合自動車で、自動車初の重要文化財となった“円太郎バス”的車輛が公開される。これは、現存する最古の車輛と言われており、交通史上社会史上非常に貴重かつ重要な資料のひとつ。また、江戸ゾーンでは、江戸の街並みを再現。長屋や屋台など、江戸の人々の日常生活が感じられる模型類を、当時の絵画や資料等を基に忠実に再現することで、まるで江戸の町に迷い込んだかのような空間となっている。

2026年3月31日の

エドハク

リニューアルオープンまで

あと、2か月

くらい

■両国まちあるき瓦版\_其の玖 (Vol. 9\_2026.1)

■発行・問合せ：墨田区産業観光部観光課

KANKOU@city.sumida.lg.jp / 03-5608-6500

■協力：墨田区観光協会/両国協力会/墨田区銘品名店会

☆その他の両国まちあるき情報や

バックナンバーなどは、こちらに掲載しています↓

